※本セミナーはZoomを使ったWEBセミナーです。会場での参加はできません。 NO. 260634

～材料と充填包装機の留意点は？/適正なシール技術の選定とは？～

1名分料金で2人目無料

ヒートシールの基礎と応用・不良対策【LIVE配信】【アーカイブ配信】

◆日　時：2026年6月12日（金）　12:30～16:30
【アーカイブ配信：6/15～6/24（何度でも受講可能）】
◆会　場：【WEB限定セミナー】※ご自宅や職場でご受講下さい。
◆受講料：1名につき49,500円（税込、資料付）
※会員登録（無料）をしていただいた方には下記の割引・特典を適用します。
・1名でお申込みされた場合、1名につき46,200円
・2名同時にお申し込みされた場合、2人目は無料（2名で49,500円）
・ライブ配信視聴、アーカイブ配信視聴いずれも受講料は同じです。

セミナーHP　https://www.rdsc.co.jp/seminar/260634

セミナーお申込みFAX
０３－５８５７－４８１２
※お申込み確認後は弊社よりご連絡いたします。

【講　師】※講師のご略歴等の詳細は弊社HPでご確認下さい

住本技術士事務所　所長　技術士（経営工学）　住本充弘　氏

【講座趣旨 / プログラム】　※詳細内容は弊社HPでご確認下さい

包装は密封が条件であり、密封のためにヒートシール（HS）技術が一般的には利用されている。食品、医薬品、化粧品他の包装対象物、包装仕様、そのHS材料、充填包装機によりHS条件は異なる。欧州連合（EU）は2025年1月22日、「包装および包装廃棄物に関する規則(EU)　2025/40」（略称：包装規則/包装廃棄物規則/PPWR）を公布。2月11日に発効し、2026年8月12日からEU全域で直接適用される。国内も、政府はプラスチック製造の企業は、再生プラスチックの年間使用量の目標とその実績を報告することを義務化する法案を検討中である。再生プラスチックをHS層として使用する場合は認可されているか否か、グレードの溶融粘度、HS強度の確認をする必要がある。また紙ベースの一次、二次包装も増加の傾向であり、循環型パッケージの面から天然物由来のHS剤を模索している。日本から多くの包装製品が輸出されている。EU　への輸出は包装製品の適合宣言が必要である。適正なHS材料を、リサイクル材料を使用し、欧州の規則に合致していることを確認しなければならない。HSをするためにどのような点に留意すべきか、またよく起こるHS不良の国内外の事例をあげて説明し対応策やいわゆるHS技術以外のシール技術やその適用事例を説明する。

【プログラム】※詳細内容は弊社HPでご確認下さい。

1. ヒートシールの基本
現在のHS技術と最近開発された温度制御技術を説明
1.1 シール条件　1.2 ヒートシール曲線
1.3 シール温度の設定
2. ヒートシール材料と充填包装機の留意点
2.1 フィルム及びextrusion coatのオレフィン系樹脂
循環型オレフィン樹脂の扱い
2.2 溶剤タイプのヒートシール剤
2.3 二つのシール温度帯を有するヒートシール剤
2.4 易開封のために部分的に弱シールにする方法
2.5 水性HS剤のメリット、デメリットの考察
3. 包装材料の仕様と適正なヒートシール技術の選定
3.1 包装仕様設計と内面シーラントの設計
3.2 充填包装機とシール方法
3.3 ヒートシール軟包装袋及び半剛性容器の試験方法
3.4 ヒートシール材料とrecycled PE/PP対応の考え方
3.5 ドイツのHS温度を部分的に変える新しい発想の制御方法
4. 主なヒートシール不良と対応策の事例
よくある不良の事例について原因と対応策
OPP仕様における国内の
包装仕様と海外の場合の設計の違いとトラブル
5. ヒートシール後の密封性の確認方法
5.1 簡易方法　5.2 検査機の使用
6. 適正なヒートシールをするために
6.1 包装材料の保管法
6.2 充填包装機の留意事項とトラブル事例
7. ヒートシール以外のシール技術
基本的なHS技法とトラブル対応事例を説明
7.1 超音波シール　7.2 高周波シール
7.3 誘導加熱シール　7.4 インパルスシール
7.5 コールドシール
8. PPWR のポイント
8.1 主なポイント　8.2 HSへの影響説明
9. 紙ベース包材の場合のHS層の工夫
9.1 熱伝導性、充填包装機適性など
紙ベースの二次包装の事例と考察
9.2 HS性を有する紙仕様の事例
10. 医薬品包装におけるHS剤の検討事例
11. 循環型パッケージ対応における包材の
certified resin/再生再利用樹脂（循環型ﾎﾟﾘﾏｰ）とHS層の考察
11.1 回収PTPの剥離及び再生の考察
ー海外の新しいPTPにおけるHS剤の考察
11.2 ケミカルリサイクルにおけるPE, PPの考察
11.3 モノマテリアル仕様指向におけるHS層の考察
(1)海外の既存の回収ルート利用のモノマテリアル仕様の指向
(2)フィルムの場合、紙仕様の場合
(3)国内でモノマテリアル仕様は意味があるか
12. 再生のための脱ｲﾝｸ、脱HS剤、ﾃﾞﾗﾐﾈｰｼｮﾝ対応の考察
(1)メカニカルリサイクル向けの場合
(2)脱インク、脱HS 剤　(3)剥離技術（デラミ）
(4)剥離されたPE, PPの販売
13. 日本はEU向けの包装製品の
包材のr PE, rPPをどこから入手するか。
EUのrecycled plasticsの配合割合をクリアするには、HS層にrecycled plasticsを全面的に使用する以外に方法はない。必要量が入手できるか。
【質疑応答】

本セミナーは「Zoom」を使ったWEB配信セミナーとなります。Zoomを使ったWEB配信セミナー受講の手順
1）Zoomを使用されたことがない方は、こちら（https://zoom.us/download#client_4meeting）からミーティング用Zoomクライアントをダウンロードしてください。ブラウザ版でも受講可能です。
2）セミナー前日までに必ず動作確認をお願いします。はじめかたについてはこちら（https://www.rdsc.co.jp/files/instruction/zoom.pdf）をご覧ください。
3）開催日直前にWEBセミナーへの招待メールをお送りいたします。セミナー開始10分前までにメールに記載されている視聴用URLよりご参加ください。
・セミナー資料は開催前日までにお送りいたします。無断転載、二次利用や講義の録音、録画などの行為を固く禁じます。

『ヒートシール』セミナー申込書　※ご希望の参加形式にチェックを入れて下さい⇒＜■LIVE　■アーカイブ＞

会社・大学			
住　所	〒		
電話番号		FAX	

お名前	所属	E-Mail
①		
②		

会員登録（無料）　※案内方法を選択してください。複数選択可。	□Eメール　□ 郵送

●Webセミナーの受講申込みについて●
必要事項をご明記の上、FAXでお申込み下さい。上記のLIVEかアーカイブにチェックを入れて下さい。弊社から受付完了のご連絡をいたしまして請求書をお送りいたします。
セミナーお申込み後、ご都合により出席できなくなった場合は代理の方がご出席下さい。代理の方も見つからない場合、営業日（土日祝日を除く）で8日前まででしたらキャンセルをお受けします。

受講料の支払いに関してはHPをご覧下さい。
⇒ https://www.rdsc.co.jp/pages/entry
個人情報保護方針の詳細はHPをご覧下さい。
⇒ https://www.rdsc.co.jp/pages/privacy

R & D SUPPORT CENTER
株式会社Ｒ＆Ｄ支援センター
〒135-0016　東京都江東区東陽3-23-24　VORT東陽町ビル 7F
TEL）03-5857-4811　FAX）03-5857-4812　URL）http://www.rdsc.co.jp/